

マルチデバイス管理サービス『I-O DATA Device Management』を無償提供
 ～ネットワーク及びパソコンに接続された様々な機器の状態が遠隔で管理できる法人様向けサービス～

株式会社アイ・オー・データ機器(本社:石川県金沢市、代表取締役社長 濱田尚則、以下、アイ・オー・データ)は、マルチデバイス管理サービス『I-O DATA Device Management』の無償提供を開始することを発表します。

『I-O DATA Device Management』は、「納品先のIT機器を手軽に管理したい」という声にお応えする法人様向けサービスです。対象となるアイ・オー・データ商品のステータス情報や稼働情報をクラウドサーバーに集積することで、管理者が遠隔からそれらの情報を閲覧・操作できるので、サポート時間の短縮やメンテナンスの効率化を図ることが可能になります。

＜主な対象機器＞

- ・無線LANルーター
- ・アクセスポイント
- ・ネットワークカメラ
- ・液晶ディスプレイ*
- ・ハードディスク*
- ・ブルーレイ/DVDドライブ*



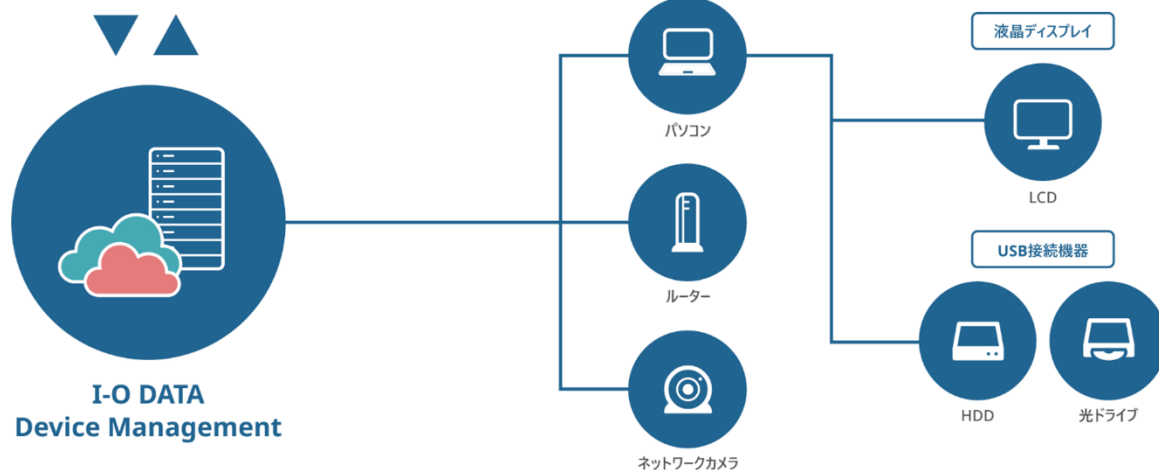
※接続されたパソコンに管理用の「エージェントアプリ」をインストールする必要があります。

『I-O DATA Device Management』の仕組み



システム管理者
(パートナー様、ユーザー様など)

- ✓稼働状況の監視
- ✓情報収集
- ✓リアルタイム遠隔操作



詳しくは ... <https://www.iodata.jp/ssp/service/iodm/>

例えばCATV/ISP事業者様のコールセンターであれば、ご契約ユーザー様のご家庭に設置した無線LANルーターの稼働状況の見える化により、お客様からのお問い合わせに対し、設定値の変更指示やファームウェアの更新/再起動などのリモートから機器を操作することで、スムーズかつ的確なサポートを可能にします。またサイネージ事業者様であれば、遠隔でサイネージ用PCの稼働状況を確認するだけでなく、液晶ディスプレイの輝度や音量などの設定を一括変更したり、コンテンツを保存するハードディスクの空き容量を監視しアラートを出すことができるので、保守メンテナンス性の大幅な向上が期待できます。

この業務の効率化が図れる『I-O DATA Device Management』は、アイ・オー・データの商品価値を高める独自の付加価値サービスとして提案してまいります。また今後は、対象機器のカテゴリーを追加するだけでなく、お客様のお声を聞きながら機能を追加し、さまざまな情報を提供できるようサービス開発に努めてまいります。

※ 本リリースに記載されている会社名、商品名は、各社の登録商標または商標です。

【本リリースに関するマスコミ問い合わせ窓口】

株式会社アイ・オー・データ機器
事業戦略本部 販売促進部 販売促進課
担当: 納富(のうとみ)
TEL: 090-4323-5016
ホームページ: <https://www.iodata.jp/>

【会社概要】

株式会社アイ・オー・データ機器
代表取締役社長: 濱田 尚則
本社: 石川県金沢市
資本金: 35 億 8,807 万円
(東京証券取引所 第一部、証券コード: 6916)